

震災関連記事のみの抜粋です

---

## ダスキン 今年も貫く祈りの経営理念

### 被災者に与えた力と勇気

#### 兵庫県南部地震 洗濯や清掃などでも支援

また、サービス産業のパイオニアとして、その精神を遺憾なく発揮したのが昨年一月十七日に発生した兵庫県南部地震の被災地への活発な救援活動である。

避難生活を余儀なくされた被災者に、下着類の洗濯をはじめ、自社商品のミスタードーナツなどの飲食物を無料提供して激励。多くの人たちに復旧に立ち上がる力と勇気を与えた。

同社では本社ビルの一部破損やダスキン誠心館の土壁が剥がれ落ちるなどの被害を受けたが、地震直後に千葉社長を本部長とする緊急対策本部を設置。情報の収集と復旧作業など、組織的な救援活動にいち早く取り掛かった。

まず、兵庫県西宮市のダスキン青木支店を拠点に、社員がオートバイや自転車で救援物資を被災した各加盟店などに運搬。さらに同支店ではミスタードーナツを一日に五千個のほか、うどん、スープ、毛布、下着類などを各加盟店周辺の被災者に提供。このほか、社員は炊き出し、被災家屋の清掃などに没頭した。

その一方で、同社では百十一の避難所を対象に約四万五千世帯の無料下着クリーニングを実施した。社員たちはトラックで西宮市内にある小中学校など避難所を一日おきに巡回し、洗濯物を集荷。この洗濯物を家族単位で網の袋に入れ、ダスキン商品の洗濯を行なっている大阪府内の四つの協栄工場で洗濯。洗濯が終わるとこれを乾燥させ、翌日に避難所まで届けるという活動を繰り返した。

このように、ダスキンならではのサービス精神に基づいた救援活動は、被災地の人たちに終生忘れられない感動を与えたのである。

「損と得の道あらば損の道をゆく」「仕事の第一は人間をつくることでありますように」など、駒井会長のユニークな経営理念は、不況から何とか活路を見いだそうとする日本の経済界にあって、大きな光明を放ち続けている。

**「今年も祈りの経営理念を貫くという気持ちを常にもち、仕事に取り組んでいこう」と元一日会で挨拶する駒井会長**  
[写真は省略]

**おにぎりを作る女子社員** [写真は省略]

**西宮市のダスキン青木支店を拠点に、社員がオートバイや自転車で救援物資を運んだ** [写真は省略]

---